



川の国応援団通信



創刊号 (平成25年1月8日発行)

発行: 埼玉県環境部水環境課
TEL: 048-830-3088
FAX: 048-830-4773
E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

「川の国応援団」

活動拡大中!



埼玉県のマスコット
コバトン

平成24年4月1日に環境部が所管していた「彩の国水すましクラブ」と県土整備部が所管していた「水辺のサポーター」を統合し、「川の国応援団」として新たなスタートを切りました。

平成24年12月末現在、川の国応援団登録数は483団体です。県内全市町村に登録団体があり、活発な川の再生活動が行われています。

清掃活動に取り組んでいる団体、水生生物や川の水质を定期的に調査している団体、地域の子どもたちを対象とした環境学習やイベントを行っている団体など、活動内容は様々です。それぞれの団体が各地域の特徴にあわせた活動に取り組んでいます。

団体の中には、経験豊富なベテラン団体がある一方、活動を始めたばかりで活動内容や運営などで苦労している団体もあります。ベテラン団体は、苦労している団体の実情や活動地域の特徴に耳を傾け、親身になってアドバイスを行っています。このように、団体同士が共に支え合い、共に助け合う「共助」の仕組みが構築されてきています。

県では、川の国応援団を中心とした団体同士の「共助による川の再生」を推進するため、団体情報の発信や情報共有などの支援を行っています。



よみがえれ元荒川の会(蓮田市)による環境学習の様子

今年度からホームページの内容を充実させ、より一層多くの情報を得やすいようにしました!ぜひ御活用ください。

「地図情報の活用」

地図上で団体の活動場所が確認できるようにしました。

さらに、団体の詳しい情報も掲載し、情報共有ができるようになりました。



団体の活動場所にマークが付いています。

マークをクリックすると団体の詳細な情報を確認することができます。



活動情報や写真、イベントの予定などをお送りください。提供していただいた情報は随時ホームページに掲載させていただきます。

<掲載例>

団体名	笹目川の環境を守る会
代表者名	渡部 郷
設立年月日	平成 17 年 12 月 4 日
会員数	20 名
ホームページアドレス	
主な活動場所	・笹目川兩岸(起点～水辺公園橋)
主な活動内容	・清掃美化活動 ・水質調査、自然観察会 ・環境保全啓発活動(パネル展示等)
活動状況・成果等(写真)	



五感による河川環境指標の状況(※この団体による評価)

河川名: 笹目川(水辺公園橋下流200m付近H24/6)



(一言コメントをお願いします!) ・感測河川のため、高潮時及びその前後は「水の流れ」が停滞し、浄化をさまたげている。 ・外来種を含め、多様な植物が繁殖している。 ・河岸の草刈りや遊歩道の除草が行われると景観は一段と美しくなり散策する人も多い。

お知らせ

平成25年2月3日(日)に「川の再生交流会」を開催します。ふるって御参加ください。(詳細は3ページを御覧ください。)

会員のひろば

活動報告



～483団体が県内各地で活動中！～

今回は、昨年10月～11月にかけて県内3箇所で開催された、「川の再生地域交流会」の企画・運営に携わられた方々からの報告です。

「川の再生地域交流会」とは、川の再生地域交流会は、川の国応援団を中心とした地域の団体が自ら企画立案から運営までを行うものです。地域交流会をとおして団体の自立自尊の活動を活発にするとともに団体同士の交流を深めることを目的としています。

平成24年度は、本庄市、東松山市、三郷市の3箇所で開催されました。

「川の再生地域交流会 in 本庄」

【熊谷の環境を考える】

連絡協議会(埼河連)

岡里 徳郎

毎年、県が主催し、県内の団体や個人が参加する川の再生交流会も昨年で18回を重ねました。これは、県民の川辺周辺の環境に興味を持つ意識が高まって来ていること、あらわれであり、河川関連の地域文化の継承にとっては重要な意味

を持ちます。

川の再生交流会では、地域の情報を共有しようと活動の事例発表が行われてきました。そこから問題点が見えてきました。それは、地域独自の活動があり、県内全域で共通した活動を行うというのは難しく、せっかくの事例発表でもあまり参考にならない事もあるという問題点でした。

そういった事情を察知した心ある市民数人が声をあげて、平成20年に埼玉県河川環境団体連絡協議会(通称・埼河連)を設立し、行政と個々の団体との橋渡し役を引き受けました。

そして、昨年より埼河連が中心となり、各団体の共通意見がまとまりやすい地域ごとで川の再生地域交流会を開催する事となりました。地域交流会は県が主催の事業ですが、現地の運営などは埼河連や地元が担当です。私が担当した本庄市で行われた地域交流会の様子を報告します。

10月24日(水)、午後1時に始まり、総勢28名が参加しました。

まずは、市内を流れる元小山川を見学しながら埼河連のメンバーである「NPO法人川・まち・人プロジェクト」の真下氏が現地説明を行いました。説明では、以前はどぶ川であった元小山川が活動

で立派によりみがえり、今では散歩道などの市民の憩いの場となっているとのことでした。

現地見学後には本庄市役所職員厚生室に移動し事例発表などが行われ、①五感による河川環境指標のまとめを行い、リーダーチャートが〇に近い結果であることを確認②市の担当職員からは、現在進めている「川のまるごと再生プロジェクト」の説明③「NPO法人川・まち・人プロジェクト」の大塚氏からは、「人と川の関係性の再構築」と題して川のユーザー作りの視点から、活動を始めた頃に参加していた小学生が、今では立派になって川辺に戻ってきて、活動に参加している模様が発表されました。

質疑応答が行われた後、地域交流会を終了しました。



元小山川現地見学の様子(本庄市)

「川の再生地域交流会 in 東松山」

【まちづくり楽会(埼河連) 山本 正史】

川の再生地域交流会 in 東松山を11月17日(土)に開催しました。

主な内容は、東松山市街地を流れる市野川散策、基調講演と質疑応答、意見交換が行われました。

集合は、県内各地の団体が参加するため東松山駅集合と市内や近郷の方が集まりやすい市役所集合の2箇所に分け、そこから市野川小学校まで移動しました。

市野川散策では、水辺環境は良いものの、家庭からの生活排水があちこちで入り込むため、水質はそれほど良くないことを説明しました。参加者は、活動に習熟した方が多かったためか、理解していただきました。

基調講演では、後藤真太郎立正大学教授に語っていただきました。その内容は、オオムラサキの生態地と林相地との関係、どのような林に棲んでいるかなど環境と生態を動的に、地図に落とせる手法で見えていく必要があると語っていただきました。

続いて、河川を管理する東松山県土整備事務所及び生活排水対策などに取り組む東松山環境管理事務所の担当者にも語っていただきました。

市野川は県西地区を流れる河川ですが、生活排水が流域の各所に入り込むため、県西地区では珍しく、類型指定状況が、下から3番目のC類型(BOD5mg/L以下)の河川です。参加者からも「風景はとても綺麗だが、川が汚れていた。」といった感想もありました。この状況に対し、多くの関係機関を交えて話し合いができたことは意義ある交流会であったと言えます。

残念なことは、質疑応答と交流の時間が少なかったことでした。地域で集まるといことは、場所が近い(参加団体は東武東上線沿線の団体が多かった)だけに、今後の団体同士の交流も期待でき、来年度以降も地域交流会を継続して実施していく予定です。



意見交換の様子(東松山市)

「川の再生地域交流会 in 三郷」 【戸田の川を考える会(埜河連)】

大石 昌男

11月8日(木)、三郷市の大場川の見学と「三郷の川をきれいにする会」と「大場川浮上ゴミをなくす会」を訪問する川の再生地域交流会が開催されました。

市民団体から30名、三郷市と県からも8名が参加しました。

今回は2つの会を中心として、5月から準備が行われ、3回の準備会を経て開催となりました。

2つの会も初めての体験ということでしたが、当日は、よく準備がされていて進行もスムーズに行われていました。

大場川の見学では、青空の下、川沿い約3kmを散策しました。

見学後は、三郷市立ピアラシティ交流センターに場所を移して交流会が行われました。2つの会からの発表も素晴らしく、普段の活動の様子や苦労されている様子が良く伝わってきました。特に、水辺に生えてくるアシなどの植物対策には苦労されているようでしたが、他の地域で同様の問題を抱えている参加者からのアドバイスもあり、活発な意見交換が行われました。

参加者は、「三郷に来たのは始めて。」という人が多かったので、普段とは違った体験ができたことで

しよう。

三郷市は県の東部に位置し、農業用水と排水路が何本もあり、その水が江戸川、中川へと流れこみ、冬期には、ほとんど水量がなくなってしまうという特徴がある土地だそうです。また、高速道路のジャンクション、浄水場や下水処理場などが建設され、開発が進んでいます。

まちづくりと環境整備の調和を構築していく上で、川をめぐる市民活動が1つのキーワードになって行くのではないかと考えています。そのためには、地元の団体の活躍が必要になってきます。

これからは、団体同士の連携を深め、協力の輪を広げて行きたいと思えます。



「五感による河川環境指標」を用いて大場川を観察している様子(三郷市)

川の国応援団大集合！川の再生交流会

スケジュール



- 10:00 開会(オープニングコーラス)
- 10:10 川の国埼玉フォトコンテスト表彰式
- 10:35 川の国応援団美化活動団体感謝状贈呈式
- 10:55 川の国応援団ガンバロウ宣言
- 11:10 川の再生活動事例などの発表
- 13:00~15:00 分科会
 - 第1分科会 * 始めの一步~川の国応援団はじめます~
 - 第2分科会 * アユがすめる川づくり
 - 第3分科会 * 浄化槽にやさしいマナー~川をきれいにするために~
 - 第4分科会 * 川の好感度チェック~五感による川の調査~
 - 第5分科会 * 多自然川づくり~子供が遊べて魚がすめる川づくり~
 - 第6分科会 * にぎわいの川づくり~まちづくり・文化・歴史・教育~
- 15:20 各分科会代表者発表
- 16:00 閉会

県内全域を対象にした交流会を開催します。普段の活動の事例発表や、初心者向けからベテラン向けまで幅広いテーマを設定した分科会を行います。川の再生活動のレベルアップを目指す人、活動の輪を広げたい人、誰でも参加大歓迎です。

日時 平成25年2月3日(日) 10:00~16:00

場所 埼玉会館(浦和駅下車徒歩6分)

申込 申込書を水環境課に提出
(申込書はホームページに掲載しています。)

川の国埼玉検定（中・上級編） を実施しました。

川の国埼玉検定（中・上級編）を12月1日（土）にさいたま共済会館で実施しました。

今回で3回目の開催となり、25名が受験しました。

出題内容は、埼玉県の水環境や歴史、河川に関する法律など、出題方式は、択一式の30問。

当日は、事前に配布したテキストをもとに埼玉県環境科学国際センター

研究員による講義が行われ、その後

に検定を実施しました。

検定の合格基準は、

正解率80%以上で

上級、60%以上で

中級。今回の検定では16名が上級に

合格、7名が中級に合格という結果でした。

上級合格者の方々には、「川の国アドバイザー」の登録依頼を行い、御了解いただいた方には、「川の国アドバイザー」として、地域で開催される環境学習の講師などとして、川の国応援団などの団体の活動支援に御協力いただきます。



検定の様子



川の国アドバイザー制度を 御活用ください。

川の再生活動でお悩みの皆さん、「川の国アドバイザー」が皆さんの活動を支援します。

○どんな支援が受けられるの？

↓ 団体の運営や効率的な活動を行うためのアドバイス、環境学習の講師などの支援を受けることができます。

○川の国アドバイザーにはどんな人がいるの？

↓ 川の国埼玉検定で上級合格された方が登録されています。川に関する知識だけでなく経験も豊富です。

○支援を受けるにはどんな手続きが必要なの？

↓ まず、水環境課にどのような支援を
受けたいか御相談
ください。御希望に
そった川の国アド
バイザーを御紹介
します。なお、支援
内容については、
御希望された団体
と川の国アドバイ
ザーで詳細な内容
等を決めていただ
きます。

手続きの流れ



○お金がかかるの？

↓ 講師の派遣料や謝金は一切かかりません。

「五感による河川環境指標」 を御活用ください。

五感による河川環境指標は、BODなどの数値では表すことができない河川環境を評価するためのものです。

特別な技術や器具がなくても五感をおして、身近な河川環境を評価することができます。

まだ活用したことがない団体の皆さんはぜひ御活用ください。なお、チェックシートや活用マニュアルは、ホームページに掲載しています。

すでに活用されている団体の皆さんは、今後も継続して活用していただき、活動の成果の評価に御活用ください。

なお、指標の評価結果は水環境課にお送りください。いただいた結果は、ホームページに掲載させていただきます。団体同士での情報共有ができるようにさせていただきます。

また、活動時の写真等があれば、あわせてお送りください。御協力お願いいたします。

また、活動時の写真等があれば、あわせてお送りください。御協力お願いいたします。

また、活動時の写真等があれば、あわせてお送りください。御協力お願いいたします。

発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1
(第3庁舎1階)
TEL: 048-830-3088
FAX: 048-830-4773
E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。
☆資材の提供や貸出等の御希望があれば御相談ください。
☆連絡先等の変更があれば御連絡ください。

川の国応援団のHP
<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kawanokuniouendan/>

